

【主催事業】

聖徳大学楽習フェスタ2012～第14回聖徳大学生涯学習フォーラム～

日時：平成24年6月 9日（土） 13：30～16：15

平成24年6月10日（日） 10：00～16：00

会場：聖徳大学生涯学習社会貢献センター

テーマ：子どもと生涯学習

主催：生涯学習研究所

共催：特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会

後援：千葉県教育委員会、松戸市、松戸市教育委員会、市川市教育委員会、柏市教育委員会、
取手市教育委員会

協力：聖徳大学オープン・アカデミー、全国生涯学習市町村協議会、千葉県松戸警察署、
松戸市生活安全課、ハイム化粧品株式会社、株式会社ブルボン、株式会社富士通研究所、
株式会社JCNコアラ葛飾、京葉ガス株式会社、野村證券株式会社、サラリーマン文化振興会、
新京成電鉄株式会社、郵便事業株式会社

内容：6月9日（土）地域で子どもを育てよう

基調鼎談「子どもの力を育む～地域に子どもの出番をつくれるか～」

第1分科会「子どもの未来に、今、親たちができること」

第2分科会「今、伝えたい創年の知恵」

6月10日（日）聖徳おしごとデパート

仕事体験ワークショップ、聖徳大学オープン・アカデミーKids英語ひろば、
かえっこバザール

参加者：1日目 103名

2日目 約1,500名

聖徳大学生涯学習研究所は6月9日（土）・10日（日）の2日間、地域と大学の交流および学生と地元企業の協働の機会を創出することを目的に、聖徳大学生涯学習社会貢献センター（本学10号館）において「楽習フェスタ2012～第14回聖徳大学生涯学習フォーラム～」を開催しました。

今回は、「子どもと生涯学習」をメインテーマに掲げ、子どもたちが生涯学習に親しむきっかけをつくることをねらいとしました。

1日目は、女優でありNPO法人青少年の心を育てる会副会長の稲垣美穂子さん、国立青少年教育振興機構理事長の田中壮一郎さん、福留強生涯学習研究所長の3名による記念鼎談「子どもの力を育む～地域に子どもの出番をつくれるか～」で幕を開けました。

続いて、「家庭と地域の役割」を考える2つの分科会を行いました。いずれも青少年教育のプロフェッショナルである方々に、第1分科会は、親の世代ができる子どもへのサポートについて、第2分科会は、高齢世代が次代を担う子どもたちに伝えたいことについて、参加者を交えて熱心に意見を交換していただきました。



2日目は、神谷明宏児童学部児童学科准教授と齊藤ゆか人文学部生涯教育文化学科准教授の助言指導のもと、児童学科学生53名と生涯教育文化学科学生34名が、地元企業や団体と協働で「聖徳おしごとデパート」を実施しました。テレビ局、化粧品メーカー、警察、郵便局、保育園など16のブースを設置し、子どもたちにそれぞれの職業を体験してもらいました。職業体験を行うと、動労の対価としてスタンプをもらうことができ、貯めたスタンプで商品を購入したり、サービスを受けることができます。会場は、社会の仕組みを擬似体験した子どもたちの笑顔に包まれていました。

あわせて実施した「かえっこバザール」や子ども向けSOA体験講座「K i d s 英語ひろば」も人気を集めていました。

来場者数は2日間で1,600名を超え、多くの方で賑わいました。子ども対象のイベントで最も心配された事故・ケガもなく、盛況のまま無事に終了することができました。

